

(令和5年度当初) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 熊本県 (都道府県: 熊本県)

事業メニュー	結婚・妊娠・出産・子育てに温かい社会づくり機運醸成事業				
区分	一般メニュー				
関連事業メニュー	3.1.4 ライフデザインセミナーの実施				
個別事業名	ライフデザイン啓発事業	新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	継続		
実施期間	交付決定日	～	令和6年3月31日	事業開始年度	平成31 年度
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	(地域における実情と課題及び本個別事業の位置付け) <地域における実情と課題> 熊本県においては、「第2期熊本県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の施策「子供を安心して産み、育てられる環境整備」において、出会いから結婚・妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援の充実を図る施策を行っている。 具体的には、それぞれのライフステージに応じた切れ目のない支援に取り組む市町村を後押しするため、県単独の交付金事業を実施するとともに、県においては、平成29年(2017年)8月、知事が先頭に立って、職員や社員の仕事と生活の充実を応援する「よかボス宣言」を行い、県全体に「よかボス」を増やして、結婚や子育てがしやすい熊本県を目指すため、様々な機会を捉えて多くの企業等に働きかけを行った。 平成30年度、本交付金を活用して、「よかボス企業」・県・市町村からなる協議体「よかボス倶楽部」を立ち上げ、令和元年度には、「よかボス倶楽部」企業間交流支援センターを設置し、企業間交流の促進やよかボスの普及活動を実施している。 その結果、「よかボス」の企業・団体の数は943社(R4.12月末時点)、「よかボス企業」のある市町村数は42市町村/45市町村にまで広がりを見せている状況。 しかし、令和3年の県内婚姻数が6,577件、出生数12,670人と、経年的に低下傾向にあり、少子化対策の観点から、結婚支援の充実を含め、これまでの取組みを更に加速させる必要がある。(参考:平成27年婚姻数8,249件、出生数15,577)				
	<本個別事業の位置付け> 学生が将来のライフデザインを考える機会を創出するため、高校生に対して思春期講座や、大学生・専門学生に対してはライフデザイン講義を実施している。その中で、結婚～子育て期におけるライフステージでキャリアを諦めることがないよう、県内「よかボス企業」の取組みも併せて周知している。				
	(本個別事業における現状と課題) 現在、県内大学(専門学校)の授業枠で、ライフデザイン講義を実施している。 キャリア支援を多く実施している学校は多いものの、ライフデザインを授業の枠として活用するには至っていない学校も多く、若い世代に働きかける手段として、出張講義形式でしか働きかけを行う機会がない状況。				
	(課題への対応) 学生が身近にライフデザインを考えることができる啓発動画を作成することで、現講義実施大学の充実を図るとともに、未実施大学への働きかけを行う際に、キャリア支援の中においても、本啓発動画を活用いただくことで、県内学生がライフデザインを考え、結婚や子育てなど、将来の希望を実現するための支援を充実させることができる。				
個別事業の内容	番号	項目	内容	ステップアップ	KPI設定
	1	ライフデザイン講座	令和4年度までは、県内7大学で「ライフデザイン」講義を実施している。 当課職員が講師として実施しているが、専門家に委託(または派遣)し、県下全域の大学及び専門学校を対象に実施できるよう体制を整える。 想定参加人数:大学生800人(参考R4:約700人) 高校生100人		○
2	ライフデザイン啓発動画作成	本県では、H27年度にライフデザイン手帳を作成・配布しているが、学生などの若い世代がより分かりやすく、気軽にライフデザインを考えることができるよう、啓発動画(10分程度)を作成し、HP上で公開する。 内容は、高校生向け(望まない妊娠をしないような性に関する啓発など)と大学生向け(パートナーシップや妊娠性に関する周知など)の2種類を作成。 また、ライフデザイン手帳(H27)の情報更新を行ったうえで、冊子を製作する。 動画・冊子は、1ライフデザイン講義をはじめとして、幅広く活用に関する周知を行う。		○	